

法政大学大学院

人間社会研究科

Hosei University Graduate School

修士課程
福祉社会
専攻

修士課程
臨床心理学
専攻

博士後期課程
人間福祉
専攻

公認心理師(国家資格)受験資格取得に要する科目を開講
(財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院

2024
法政大学

Social Well-being Studies

“生きる”を学ぶ。あしたに挑む。

人間社会研究科では、人間の“生”(Life)をトータルに捉えた教育研究によって、
高度な専門能力、深く幅広い知識、そして豊かな人間性を養い、
新たな福祉社会の担い手となるプロフェSSIONALの育成をめざします。

■ 専任教員 人間社会研究科 (2023年度)

岩田 美香 教授 (いわた みか) 福祉社会 人間福祉

人間社会研究科長

研究領域: 子ども・家族福祉論、教育福祉論
担当科目: 「児童福祉特論」「ソーシャルワーク・スーパービジョン」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書: 『現代社会の育児不安』(単著、家政教育社)、『福祉国家と家族』(共著、法政大学出版局)、『社会的孤立問題への挑戦』(共著、法律文化社)、『現代社会と子どもの貧困』(共著、大月書店)、『子ども家庭福祉』(共著、生活書院)他

学会活動: 日本社会福祉学会、日本学校ソーシャルワーク学会、日本子ども家庭福祉学会、日本家族社会学会、日本司法福祉学会、貧困研究等

博士(教育学)

岩崎 晋也 教授 (いわさき しんや) 福祉社会 人間福祉

研究領域: 社会福祉原論
担当科目: 「福祉社会系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書: 『援助するということ』(共著、有斐閣)、『社会福祉をつかむ』(共著、有斐閣)、『福祉原理—社会はなぜ他者を援助する仕組みを作ってきたのか』(単著、有斐閣)

学会活動: 日本社会福祉学会、社会政策学会、社会事業史学会

博士(人間福祉)

小野 純平 教授 (おの じゅんぺい) 臨床心理学 人間福祉

研究領域: 臨床心理学、発達臨床心理学、心理検査学
担当科目: 「臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)」「臨床心理査定演習Ⅱ」「臨床心理系(病理・発達)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書: 『公認心理師の基礎と実践18巻「発達障害の理解と支援」』(共著、遠見書房)、『日本版KABC-Ⅱによる解釈の進め方と実践事例』(共著、丸善出版)、『臨床心理学30章』(共著、日本文化科学社)

学会活動: 日本K-ABCアセスメント学会(理事長)、日本心理臨床学会、日本内観学会、日本LD学会等

博士(教育学)

金 慧英 専任講師 (きむへいよん) 福祉社会 人間福祉

研究領域: 高齢者福祉、介護専門職の支援、国際比較
担当科目: 「福祉社会研究法Ⅰ」

主な著書: 『韓国の災害福祉の現状と課題—コロナ禍における高齢者の社会的孤立を防ぐ取り組みを中心に』(単著、関西学院大学災害復興制度研究所14) 2022年、『介護職員のパフォーマンス要因についての一考察: 職場環境の管理体制に着目して』(共著、Human Welfare, Vol 11(1)) 2019年他

学会活動: 日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本老年社会学会、日本介護福祉学会

博士(人間福祉)

高良 麻子 教授 (こうら あさこ) 福祉社会 人間福祉

研究領域: ソーシャルワーク論、ソーシャルアクション
担当科目: 「ソーシャルワーク特論Ⅱ」「ソーシャルワーク・スーパービジョン」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書: 『日本におけるソーシャルアクションの実践モデル—「制度からの排除」への対処』(単著、中央法規出版)、『独立型社会福祉士—排除された人びとへの支援を目指して—』(単著、ミネルヴァ書房)、『ジェネラリスト—ソーシャルワークを実践するために—』(共著、ミネルヴァ書房)、『ソーシャルワークの事例から—』(共著、かもがわ出版)、『地域共生社会に向けたソーシャルワーカー—社会福祉士による実践事例から—』(共著、中央法規出版)

学会活動: 日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本学校ソーシャルワーク学会、日本社会福祉士会、日本ソーシャルワーカー協会

博士(ソーシャルワーク)

佐藤 繭美 教授 (さとう まゆみ) 福祉社会 人間福祉

研究領域: ソーシャルワーク論(特に死別ケアを中心として)、当事者および家族への支援(セルフヘルプ・グループを中心として)
担当科目: 「ソーシャルワーク特論Ⅰ」「ソーシャルワーク・スーパービジョン」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書: 『自閉症の人の死別経験とソーシャルワーク』(単著、明石書店)、『自閉症と発達障害研究の進歩2006 Vol.10』(共著、星和書店)

学会活動: 日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本臨床死生学会等

博士(人間福祉)

修士課程 **福祉社会専攻** 博士後期課程 **人間福祉専攻**

修士課程 **臨床心理学専攻**

公認心理師(国家資格)受験資格取得に要する科目を開設
(財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院

伊藤 正子 教授 (いとう しょうこ) 福祉社会 人間福祉

研究領域: ソーシャルワーク論、異なる民族・文化的背景をもつ人々への社会福祉援助
担当科目: 「ソーシャルワーク理論研究特論」「ソーシャルワーク・スーパービジョン」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書: 『生活支援の福祉学』(共著、有斐閣)、『くつなり>の社会福祉—人びとのエンパワメントを目指して—』(共著、生活書院)、『ソーシャルワークの「基本」再考—ソーシャルワーク倫理原則のグローバル声明にみる価値観—』(共著、70, 2022年)

学会活動: 日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、東京都医療ソーシャルワーカー協会、日本移民政策学会

博士(社会福祉学)

岡田 栄作 准教授 (おかだ えいさく) 福祉社会

研究領域: 福祉疫学、高齢者福祉、ヘルスプロモーション
担当科目: 「保健医療福祉システム特論」「福祉社会研究法Ⅰ・Ⅱ」

主な著書: 『ソーシャル・キャピタルと健康・福祉』(共著、ミネルヴァ書房)、『住民主体の楽しい「通いの場」づくり』(共著、日本看護協会出版会)

学会活動: 日本公衆衛生学会(認定専門家)、日本社会医学学会、日本計量生物学会、日本疫学会、日本社会福祉学会、日本栄養改善学会

博士(医学)

金築 優 教授 (かねつき まさる) 臨床心理学 人間福祉

研究領域: 臨床心理学、認知行動療法
担当科目: 「臨床心理学特論」「心の健康教育に関する理論と実践」「臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習)」「臨床心理実習Ⅱ」「臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書: 『大学生の心配に対するメタ認知に焦点を当てた認知行動的介入の効果』(共著、感情心理学研究17(3))2010年、『感情への恐れとストレス反応の関連性—日本語版Affective Control Scaleの作成を通して—』(共著、感情心理学研究18(1))2010年他

学会活動: 日本認知・行動療法学会、日本感情心理学会、日本心理学会、The Motivational Interviewing Network of Trainers (MINT)等

博士(人間科学)

久保田 幹子 教授 (くぼた みこ) 臨床心理学 人間福祉

研究領域: 臨床心理学、心理療法(森田療法、カウンセリングなど)
担当科目: 「臨床心理基礎実習」「医療心理学特論」「臨床心理系(病理・発達)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書: 『臨床精神医学講座5 神経症性障害・ストレス関連障害』(共著、中山書店)、『心理療法フリーズ「森田療法」』(共著、ミネルヴァ書房)、『このころの医学事典』(共著、講談社)、『カウンセリングプロセスハンドブック』(共著、金子書房)、『女性はなぜ生きつづけるのか』(共著、白揚社)他

学会活動: 日本森田療法学会(副理事長、研修委員長、編集委員)、日本サイコセラピー学会(理事、編集委員)、日本心理臨床学会等

博士(学術)

小林 由佳 准教授 (こばやし ゆか) 臨床心理学

研究領域: 産業精神保健学、臨床心理学(産業・組織)
担当科目: 「臨床心理学研究法特論」「産業・労働分野に関する理論と支援の展開」「心理療法特論」

主な著書: 『産業保健スタッフのための実践! 「誰でもリーダーシップ」』(共著、誠信館)、『職場のメンタルヘルス不調: 困難事例への対応がくんとくんと上がるSOAP記録術』(共著、誠信館)、『マインドフルにいきいき働くためのトレーニングマニュアル: 職場のためのACT(アクト)アセスメント&コミットメントセラピー』(共著、星和書店)、『ポジティブメンタルヘルス: いきいき職場づくりへのアプローチ』(共著、培風館)、『産業ストレスとメンタルヘルス: 最先端の研究から対策の実践まで』(共著、中央労働災害防止協会)

学会活動: 日本産業ストレス学会(理事)、日本産業精神保健学会(編集委員)、日本産業衛生学会(編集委員)、日本産業・組織心理学会、日本認知・行動療法学会、日本心理学会等

博士(医学)

佐野 竜平 教授 (さのりゅうへい) 福祉社会 人間福祉

研究領域: アジアの障害インクルーシブな国際協力、障害者の暗黙知、障害者権利条約、人馬のウェルビーイング
担当科目: 「アジア地域開発特論」「地域共生社会特論」「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書: 『循環型人材確保—育成とベトナムとの国際協力』(編著、クリエイツかもがわ)、『An Introduction to Human Rights in Southeast Asia Vol.3』(共著、ASEAN University Network-Human Rights Education/SHAPE-SEA)、『Picture Book United Nations Convention on the Rights of Persons with Disabilities』(編著、汐文社)等

学会活動: Global Alliance for Public Relations and Communication Management ワカビリティジャパン等

Ph.D.(Knowledge Management)



眞保 智子 教授 (しんほ さとこ)

福祉社会

人間福祉

研究領域: 若者支援論、就労支援、障害者のキャリアデザイン
担当科目: 「障害者福祉特論」「精神保健福祉特論」
「地域共生社会特論」「福祉社会系特講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「就労支援サービス」(共著、株式会社みらい)、「グローバル時代の社会学
一社会学の視点で読み解く現代社会の様相」(共著、株式会社みらい)、「
キャリアデザイン支援ハンドブック」(共著、ナカニシヤ出版)、「改訂版障
害者雇用の実務と就労支援「合理的配慮」のアプローチ」(単著、日本法令)
学会活動: 日本労働学会、日本職業リハビリテーション学会、日本うつ病学会、日本
キャリアデザイン学会、日本社会福祉学会

博士(経済学)



末武 康弘 教授 (すえたけ やすひろ)

臨床心理学

人間福祉

研究領域: 臨床心理学、心理学的支援法、カウンセリング・心理療
法
担当科目: 「臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)」
「臨床心理面接特論Ⅱ」「臨床心理基礎実習」
「臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「ロジャース主要著作集(全3巻)」(共訳、岩崎学術出版社)、「ジェン
ドリン
哲学入門」(共編著、コスモスライブラリー)、「主観性を科学化する」質
的研究法入門」(共編著、金子書房)、「心理学的支援法」(誠信書房)
学会活動: 日本心理臨床学会、日本人間性心理学会、日本心理学会、World
Association for Person-Centered and Experiential Psychotherapy
and Counseling

博士(学術)



関司 直也 教授 (せし なおや)

福祉社会

人間福祉

研究領域: 農業経済学、農山村政策論
担当科目: 「地域空間学特論」「地域共生社会特論」
「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「新しい地域をつくる」(共著、岩波書房)、「就村からなりわい就農へ」
(筑波書房)、「内発的農村発展論」(共著、農林統計出版)、「田園回帰の過
去・現在・未来―移住者と創る新しい農山村」(共著、農文協)他
学会活動: 日本農業経済学会、政治経済学・経済史学会、農業問題研究会、農村計
画学会、日本村落研究学会

博士(農学)



関谷 秀子 教授 (せきや ひでこ)

臨床心理学

人間福祉

研究領域: 児童青年精神医学、精神分析学
担当科目: 「精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)」
「臨床心理系(病理・発達)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
学会活動: 精神分析学会(認定精神療法医、認定スーパーバイザー)、思春期青年期精
神医学会(運営委員)、児童青年精神医学会(児童青年精神医学会認定医)、
子どものこころ専門医、日本精神神経学会(専門医、指導医)、日本心理
臨床学会等

医学博士



高取 康之 教授 (たかとり やすゆき)

福祉社会

研究領域: 異文化コミュニケーション、英語教育、
経済学(マーケティング)
担当科目: 「原書講読研究」
主な著書: 「日本実用英語検定3級対応リスニング・テープ」(単著、旺文社1997年)
学会活動: 法政大学英文学会

博士(農学)



土肥 将敦 教授 (どい まさあつ)

福祉社会

人間福祉

研究領域: ソーシャル・イノベーション、社会的企業家、CSR、
企業と社会
担当科目: 「地域経営特論」「福祉社会研究法Ⅰ」
「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「社会的企業者―CSIの推進プロセスにおける正統性」(単著、千倉書房)、「
ビジネスの最新形態B Corp入門」(監訳、ニュートンプレス)、「ソーシャ
ル・イノベーションの創出と普及」(共著、NTT出版)、「ソーシャル・エ
ンタプライズ論」(共著、有斐閣)、「ソーシャル・エンタプライズ―社会
的企業の台頭」(共著、中央経済社)他
学会活動: 組織学会、日本経営学会、社会・経済システム学会、企業と社会フォーラム

博士(商学)



丹羽 郁夫 教授 (にわい くお)

臨床心理学

人間福祉

研究領域: 臨床心理学、コミュニティ心理学、子どもの心理療法
担当科目: 「臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習)」「臨床心理実習Ⅱ」
「心理臨床実習」「臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
「コンサルテーションとコラボレーション」(共著、金子書房)、「コミュニ
ティ心理学入門」(共著、ナカニシヤ出版)、「よくわかるコミュニティ心
理学」(共著、ミネルヴァ書房)、「心理学的支援法」(共著、北大路書房)他
学会活動: 日本心理臨床学会、日本コミュニティ心理学会(副会長、編集委員)、日
本遊戯療法学会、日本学生相談学会、日本社会心理学会、日本心理学会

博士(人間科学)



野田 岳仁 准教授 (のだ たけひと)

福祉社会

人間福祉

研究領域: 環境社会学、地域社会学、観光社会学
担当科目: 「地域環境特論」「福祉社会研究法Ⅰ」
「地域・文化系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「生活環境主義のコミュニティ分析」(共著、ミネルヴァ書房)、「原発災
害と
地元コミュニティ」(共著、東信堂)、「Rebuilding Fukushima」(共
著、Routledge)、「環境社会学の考え方」(共著、ミネルヴァ書房)
学会活動: 日本社会学会、環境社会学会、日本村落研究学会、観光学術学会、水資
源・環境学会(理事)、日本生活文化史学会

博士(人間科学)



服部 環 教授 (はっとり たまき)

臨床心理学

人間福祉

研究領域: 教育心理測定学、心理データ解析
担当科目: 「データ分析法」
「臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「心理・教育のためのRによるデータ解析」(単著、福村出版)、「文系のため
のSPSSデータ解析」(共著、ナカニシヤ出版)、「読んでわかる心理統
計法」(共著、サイエンス社)、「Q&A心理データ解析」(共著、福村出版)
学会活動: 日本教育心理学会、日本テスト学会(副理事長)、K-ABCアセスメント
学会(副理事長)、日本心理学会、日本応用心理学会

教育学博士



布川 日佐史 教授 (ふかわ ひさし)

福祉社会

人間福祉

研究領域: 公的扶助、社会政策
担当科目: 「ソーシャルポリシー特論」「地域共生社会特論」
「福祉政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「生活保護の論点」(単著、山吹書房)、「現代の貧困と公的扶助」(共著、高
倉出版)、「雇用政策と公的扶助の交錯」(共著、御茶の水書房)、「就労支援」
(共著、ミネルヴァ書房)、「Das letzte Netz sozialer Sicherung in
der Bewahrung」Nomos Verlag(共著)
学会活動: 貧困研究会、社会政策学会

博士(社会学)



水野 雅男 教授 (みずの まさお)

福祉社会

人間福祉

研究領域: 都市住宅政策論、市民活動運営論
担当科目: 「都市・住宅政策特論」「地域共生社会特論」
「地域・文化系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「地方都市の再生戦略」(川上光彦編共著/学芸出版社)、「生活景」(日本
建築学会編共著/学芸出版社)、「農山漁村における都市内企業労働者
のメンタルヘルス、プログラムの構築と評価手法の実証的な研究」(農
林水産政策研究所レビュー第55号)他
学会活動: 日本建築学会、日本都市計画学会、地域安全学会

博士(学術)



宮城 孝 教授 (みやしろ たかし)

福祉社会

人間福祉

研究領域: 地域包括ケアシステム、コミュニティソーシャルワーク、
地域福祉計画などの地域福祉方法論
担当科目: 「地域福祉特論」「地域共生社会特論」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「イギリスの社会福祉とボランティアセクター」(単著、中央法規)、「コミュニ
ティとソーシャルワーク」(編著、有斐閣)、「ソーシャルワークと社会開発―
開発的ソーシャルワークの理論とスキル」(監訳、丸善出版)、「コミュニ
ティソーシャルワークの新たな展開―理論と先進事例」(編著、中央法規)、「
仮設住宅その10年―陸前高田における被災者の暮らし」(編著、お茶の
水書房)、「住民カ―超高齢社会を生き抜くカラー」(単著、明石書店)他
学会活動: 日本地域福祉学会(理事)、日本社会福祉学会

博士(社会学)



望月 聡 教授 (もちづき さとし)

臨床心理学

人間福祉

研究領域: 神経心理学、認知行動病理学
担当科目: 「教育心理学特論」「認知心理学特論」
「臨床心理系(病理・発達)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「臨床心理学研究法特論(18)」(共編著、放送大学教育振興会)、「スタン
ダード臨床心理学」(分担執筆、サイエンス社)、「高次脳機能障害Q
& A 症候編」(分担執筆、新興医学出版社)、「心理学の「現在」がわかる
ブックガイド」(共著、実務教育出版)
学会活動: 神経心理学会(評議員)、高次脳機能障害学会(代議員)、心理学会、ハー
ソナリティ心理学会、心理臨床学会、感情心理学会

博士(学術)



山本 五郎 教授 (やまもと ごろう)

福祉社会

研究領域: コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)
担当科目: 「学術英語」
主な著書: 「ウィズダム英和辞典4版」(共著、三省堂)、「English on Screen: Learning Real English
Through Erin Brockovich」[映画]エン・プロビッチで学ぶ実践英語の基本」(共著、金星堂)、「
Global Issues Towards Peace DVDで学ぶ共存社会―グローバル時代を考える」(共著、南雲
堂)、「見て学ぶアメリカ文化とイギリス文化」(共著、近代映画社)、「映画で学ぶ英語学―English
Linguistics Through Movies」(共著、くろしお出版)、「Step Up With Movie English」(共著、金星堂)
映画メディア英語教育学会、英語コーパス学会、大学英語教育学会、日本
メディア英語学会、日本語論学会

博士(学術)

福祉社会専攻

修士課程

Major in Social Policy and Community Development

本専攻では、一人ひとりの Well-being の実現を支援することができる、高度専門職業人（ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、コミュニティ・プランナー等）と研究者の養成をめざします。カリキュラムは、専攻の基礎となる「専門共通科目」、ソーシャルワーク系、システム・マネジメント系、コミュニティ・デザイン系、研究基盤の4つの系からなる「専門展開科目」、修士論文の指導やフィールドワークを通して研究指導を行う「演習科目」によって構成されています。

≫ カリキュラム・ツリー（一部抜粋）

専門共通科目（4単位以上を選択）

福祉社会研究に共通する研究方法を学ぶ

- ・福祉社会研究法Ⅰ
- ・福祉社会研究法Ⅱ
- ・地域共生社会特論
- ・社会福祉学特論

※各科目すべて2単位

専門展開科目（14単位以上を選択）

現代の福祉社会の形成に関わる最先端の課題と理論を学ぶ

- | | |
|--|--|
| 【ソーシャルワーク系】 <ul style="list-style-type: none">・ソーシャルワーク理論研究特論・ソーシャルワーク実践研究特論・生活問題特論 | 【コミュニティ・デザイン系】 <ul style="list-style-type: none">・地域空間学特論・地域マネジメント特論・地域環境特論 |
| 【システム・マネジメント系】 <ul style="list-style-type: none">・ソーシャルポリシー特論・保健医療福祉システム特論・福祉経営特論 | 【研究基盤】 <ul style="list-style-type: none">・原書講読研究・学術英語・データ分析法 |

※各科目すべて2単位

演習科目（すべて必修12単位）

個々の研究課題に沿って、修士論文に収めるよう個別指導を行う

- ・論文研究演習Ⅰ④
- ・論文研究演習Ⅱ④
- ・実践研究演習Ⅰ②
- ・実践研究演習Ⅱ②

※○数字は単位数

多様な学びの内容と機会が増えました

社会人学生が自らの実践現場を活かした学びを展開できるように、科目についての内容を見直し、また対面とオンライン併用のハイフレックスによる科目も増えました。さらに、市ヶ谷キャンパスにおける科目展開や長期履修制度を導入するなど、社会人の方にも学びやすい環境・制度を整えていますので、ご自身のライフスタイルに合わせて仕事をつづけながら研究活動に取り組むことができます。

仕事をしながら通学する先輩 VOICE!

大西 連 さん

2021年入学

仕事と研究を両立している社会人学生のインタビュー記事掲載サイトもあわせてご覧ください。



≫ 修了生の研究テーマ（抜粋）

- ・精神障がいのある子どもを持つ母親の意識変容 — 家族参加による肯定的態度への変容過程 —
- ・10代で出産したシングルマザーの生活困難 — 母子生活支援施設利用者のライフコース分析を通して —
- ・就労継続支援B型事業所における精神障害者の就労支援
- ・大学生等の世帯分離に内在する矛盾と世帯への影響に関する研究
- ・外国人に対する生活保護準用の不安定性 — 史的変遷からの考察 —
- ・独居高齢者のライフエンディング・ステージにおける準備行動についての研究
- ・一独居高齢者へのインタビュー調査の分析を通じて —
- ・大震災時の復興過程における知的障害者に対するソーシャルワークの役割と課題 — 陸前高田市のフィールドワークを通して —
- ・医療・介護の視点から見た農村地域における地域包括ケアシステムの構築
- ・在宅介護高齢者への24時間ケア体制から —
- ・中国人介護技能実習生の確保に向けた監理団体による介護職種の参入障壁に関する研究
- ・大学ミュージアムの今日的役割 — 大学と地域社会との関係性に着目して —
- ・社会的に責任あるグローバル・サプライチェーンの構築 — サプライチェーン・モニタリングシステムとステークホルダー・エンゲージメントの考察から —
- ・観光まちづくりにおける持続性と地域利益の平準化
- ・一嬉野温泉旅館大村屋の実践を事例として —
- ・住民防災組織の地域防災力強化に向けた組織的アプローチの研究
- ～葛飾区の活動事例を通じて～
- ・村組の持続と終焉からみた地域コミュニティの変容

Message



▶ 教員

佐野 竜平 教授

研究領域：
アジアの障害インクルーシブな国際協力・開発、循環型経済、障害者の暗黙知、障害者権利条約

本専攻では、主に社会福祉とコミュニティ・マネジメントの観点から「Well-being」の実現に関する研究が行われています。変わりゆく現代福祉に関連した学問領域であり、様々な視点から問いかけ、結論を導き出す手法を身に付けていくこととなります。一見関連のないトピックをつながることで斬新な発想を創出するなど、日々の学びに限界がないことを実感できます。幅広い研究領域を持つ教員とともに未知の世界に飛び込んでみませんか。飽くなき探究心を持つ皆さんと一緒に新しい研究ができる日を楽しみにしています。



▶ 在学生

平井 喬 さん

2022年入学
法政大学 現代福祉学部
福祉コミュニティ学科

私は農業分野における障害者就労に関する研究を行っています。「働く」ということは、人生を構成する重要な要素であり、単一的な視点のみでは語ることはできません。このテーマについて、多岐にわたる専門性をお持ちの先生方からのご指導や、地域づくり・福祉・心理などに関心を持つ同級生との議論を通して、様々な視点から「働く」ということを捉えることができました。修了後も継続して人に寄り添った活動を行っていきたくと考えています。Well-beingな社会をつくるために、本研究科とともに学べることを楽しみにしております。



▶ 修了生

古谷 菜 さん

2022年修了
株式会社 地域計画連合

私は現在、都市計画コンサルタントとして様々な地域の課題解決に取り組んでいます。在学中は、重要伝統的建造物群保存地区における多主体連携のまちづくりについて、都市計画や社会学、福祉といった多様な学問の先生方のもとで、理論と実践を通じて研究をすることができました。本専攻での経験から、現在ハード面のまちづくりを進める中で、人々の生活に目を向け対話を重ねることが地域の本当の Well-being の実現に繋がるという信念を持ちながら日々地域に向き合っています。本専攻で、変わりゆく地域の課題について幅広い視点から考え、アプローチしてみませんか。

臨床心理学専攻

Major in Clinical Psychology

修士課程

公認心理師(国家資格)受験資格取得に要する科目を開講
(財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院

近年頻発する児童や青年の事件で繰り返し指摘されるように、心のケアは社会全体において緊急の課題となっています。本専攻ではこうした社会的ニーズに応え、心のケアの専門家としての公認心理師と臨床心理士を養成します。また、心のケアは単に教育の領域にとどまらず、医療や福祉、司法・矯正、企業のメンタルヘルス、さらにはコミュニティの再生・創造の問題とも密接に関わっており、このような臨床心理学へのニーズの多様化・高度化に対応した高度職業人と研究者の養成をめざします。カリキュラムは、臨床心理学を学ぶための基幹を修得する「専門基幹科目」、それらをより深く展開するための科目と各論的に幅を広げる科目からなる「専門展開科目」、修士論文の指導を行う「研究指導科目」によって構成されています。

≫ カリキュラム・ツリー (一部抜粋)

専門基幹科目 (全て必修16単位)

臨床心理学全般の学習、カウンセリングや種々の臨床心理学査定法等について学ぶ

- ・臨床心理基礎実習②
- ・臨床心理学特論④
- ・臨床心理面接特論Ⅰ
(心理支援に関する理論と実践)②
- ・臨床心理面接特論Ⅱ②
- ・臨床心理査定実習Ⅰ
(心理的アセスメントに関する理論と実践)②
- ・臨床心理査定実習Ⅱ②
- ・臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習)①
- ・臨床心理実習Ⅱ①

※○数字は単位数

臨床心理相談室

来談者の受见面接、心理査定、心理面接を行う

専門展開科目 (14単位以上を選択)

専門基幹科目の学習と臨床心理実習をより深く展開するために専門基幹科目で学んだ土台を確かにし、各論的に幅を広げる

1. 研究法科目：臨床心理の基礎となる研究方法を学ぶ科目
・心理学研究法特論・データ分析法・臨床心理学研究法特論
2. 基礎心理科目：臨床心理の基礎となる心理学科目
・認知心理学特論・教育心理学特論・発達心理学特論
3. 家族・社会心理科目：家族や社会の心理的問題を探究する科目
・社会病理学特論・家族心理学特論・犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)
4. 関連専門領域科目：臨床心理と深い関連を持つ専門分野の科目
・精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)・障害者(児)心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)・産業・労働分野に関する理論と支援の展開・児童福祉特論・高齢者福祉特論
5. 専門技能科目：臨床心理の専門技能を深く学ぶ科目
・教育分野に関する理論と支援の展開・グループ・アプローチ特論・家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践
・投射法特論・心の健康教育に関する理論と実践・力動的心理療法特論・心理療法特論・心理臨床実習・医療心理学特論

※科目は全て2単位

研究指導科目 (必修4単位)

個々の研究課題に沿って、修士論文に収めるよう個別指導を行う

- ・論文研究指導④

※○数字は単位数

≫ 修了生の研究テーマ (抜粋)

- ・在宅介護・看取りを行った家族の喪失体験の意味づけー在宅介護・看取りの経験が与える影響に着目してー
- ・ASD傾向、ADHD傾向を有する場合のストレス対処行動及び愛着スタイルが精神健康度に与える影響について
- ・内観療法における心理的変容のプロセスー愛着スタイルを中心にー
- ・大学生アスリートにおける受傷体験と反すうの関連性
- ・マインドフルネスが孤独感の低減に及ぼす効果ー孤独に対する捉え方に着目してー
- ・ワーク・ライフ・バランスの観点から見たワーク・エンゲイジメント促進要因の検討ー仕事と家庭に関する価値観とコンフリクトに焦点を当ててー
- ・大学生の恥意識についての研究ー対人恐怖心性と回避的傾向、及び心理的自立との関連からー
- ・入院森田療法患者の体験分析
- ・心理士の職業的発達に影響を及ぼす体験についてー自己変容との関連からー
- ・アタッチメントと長期恋愛経験からみる青年の自己愛的脆弱性と自尊感情ー大学入学時からの変化に着目してー
- ・コンパニオン・アニマルが飼育者に及ぼす心理的影響の検討
- ・精神疾患の親をもつ子どものリカバリーに関する研究
- ・心理学的ストレスプロセスにおけるレジリエンスが持つ効果に関する研究

Message



▶ 教員

望月 聡 教授

研究領域：神経心理学、
認知行動病理学

臨床心理学専攻では、臨床心理学や精神医学を専門とし、第一線で活躍する教授陣が学生を指導しています。また、学内に設置された臨床心理相談室や学外の病院・クリニックなど、様々な臨床現場での実習を用意し、2018年4月からは公認心理師(国家資格)の受験資格取得に必要な科目を開講しています。本専攻では、これらの専門的・実践的な学びを通して、社会的ニーズに応えられる、心のケアの専門家としての公認心理師や臨床心理士の養成に取り組んでいます。多くの方々への積極的なチャレンジを期待しています。



▶ 在学生

鈴木 万緒 さん

2022年入学
法政大学 現代福祉学部
臨床心理学科

現在、完全主義と反すう、セルフコンパッションについて研究しています。本専攻は、“心理職”として、また“人”としても成長していける環境です。まず、各分野の第一人者である先生方の講義や指導を受けられ、さらには学内の相談室・学外の病院実習を通して、臨床現場での心理支援を学ぶ事が出来ます。もちろん研究や実習場面で悩むときもありますが、同じ目標をもつ仲間と共に切磋琢磨しあい、時には助け合いながら乗り越えています。大学院での日々は、自分自身の成長の糧になると感じています。皆さんと一緒に学べる事を心からお待ちしております。



▶ 修了生

五十嵐 瑞穂 さん

2018年修了
医療法人社団哺育会
横浜相原病院 心理療法科
主任 臨床心理士 公認心理師

私は現在、精神科の病院で心理検査や心理面接等を主な業務として勤めており、職場の机には大学院で学んだ頃の資料が今も置いてあります。臨床心理学専攻では現場経験の豊富な先生方に研究室の垣根を越えてご指導頂くことが出来るため、心理支援の技術や論文作成に関わるデータ分析、心理職として求められる姿勢等、幅広い分野を自由に学ぶことが出来ました。修了後にも交流や研鑽の機会が設けられている点も本学の魅力です。今後、大学院での経験をもとにスキルを磨き続け、心理支援に役立てていきたいと思っています。

人間福祉専攻

博士後期課程

Major in Social Policy, Community Development, Clinical Psychology

人間社会を構成する生活者の Well-being を実現するためには、これまで積み重ねられてきた社会福祉実践の展開に加えて、「心のケア」から「コミュニティマネジメント」までを含んだトータルな実践が必要とされています。こうした総合的な人間福祉を実現するための理論研究は、21世紀の福祉社会を展望する上で重要な課題といえるでしょう。人間福祉専攻は、修士課程の教育研究をさらに発展させ、地域社会を基盤に人間の「生」(Life)をトータルに捉え、新しい福祉社会の構築に関する研究者の養成をめざします。カリキュラムは、福祉・コミュニティ・臨床心理に関わる特殊研究・講義と人間福祉特別演習からなりますが、博士後期課程は科目を履修することが主目的ではなく、研究指導を受け博士論文をまとめることを目的としています。

≫ カリキュラム・ツリー (一部抜粋)

選択・必修科目 (8単位以上を選択)

各領域の重要かつ先端的な研究動向について学ぶ

- | | | |
|-------------|--------------|--------------------|
| ・福祉政策系特殊講義Ⅰ | ・地域・政策系特殊講義Ⅰ | ・臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅰ |
| ・福祉政策系特殊講義Ⅱ | ・地域・政策系特殊講義Ⅱ | ・臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅱ |
| ・福祉社会系特殊講義Ⅰ | ・地域・文化系特殊講義Ⅰ | ・臨床心理系(病理・発達)特殊講義Ⅰ |
| ・福祉社会系特殊講義Ⅱ | ・地域・文化系特殊講義Ⅱ | ・臨床心理系(病理・発達)特殊講義Ⅱ |
| ・福祉臨床系特殊講義Ⅰ | | |
| ・福祉臨床系特殊講義Ⅱ | | |

※各科目すべて2単位

必修科目

個々の研究課題に沿って、修士論文に取組むよう個別指導を行う

- ・人間福祉特別演習Ⅰ
- ・人間福祉特別演習Ⅱ
- ・人間福祉特別演習Ⅲ

※各科目すべて4単位

≫ 修了生の研究テーマ (抜粋)

- ・地域主義にもとづく文化財保存と活用に関する研究 —文化財を核としたコミュニティの生成と活動を視野に—
- ・居住に困難を抱える単身高齢者の居住支援におけるコミュニティソーシャルワークの意義と機能
- ・地域特性に応じた介護保険事業の効率性についての実証的研究
- ・生活保護法準用措置による外国人保護実施過程の分析 —形成・展開・限界—
- ・高齢者夫婦間介護のリスクに関する研究 —その構成要因と支援の方法について—
- ・自然科学的人間観に着目したクリニカルサイコロジストの実践性と科学性の関連
- ・教育相談群と病院群の思春期の子どもと母親の比較研究 —子どもの精神・行動症状と母親の対象関係を中心に—
- ・自閉スペクトラム症の大学生・大学院生のレジリエンスに関する研究
- ・構造拘束的な体験様式と心理的距離に関する研究
- ・Obsessive-Compulsive Disorder in Adults with Autism Spectrum Disorders Comorbidity: Examining Neuropsychological Features

Message



▶ 教員

佐藤 繭美 教授

研究領域：ソーシャルワーク論(特に緩和ケアを中心として)、当事者および家族への支援(セルフヘルプ・グループを中心として)

「生活(life)」とは、その人の「生き方」ともいえます。人は生を受けてから様々な「生き方」をします。誰もが死を迎えるからこそ、死を迎えるまでの「生活」を支援していくことがソーシャルワークだと思っています。その視点をもとに、私はソーシャルワーク実践研究を進めています。本専攻には、社会制度の狭間に生じる課題に目を向ける教員が多くそろっています。社会課題は一人では解決できません。そのことを十分に知り尽くしている教員たちだからこそ、論文執筆にむけた学びのフォローは手厚く行っています。研究という視点から、社会課題と格闘する皆さんを応援します。



▶ 在学生

竹内 壮志 さん

2021年入学

私は精神科医療機関のソーシャルワーカーとして勤務しています。現場実践しながら博士後期課程で研究することは無謀な挑戦かもしれませんが、実践の中で研究課題を焦点化し探求する、研究から得られた知見を実践に活かす、この循環の中で自己の知識や技術を高めることができるのは何ものにも代えがたい経験です。何より、先生方のご理解と暖かく熱心なご指導、共に励まし学び合う院生の仲間たち、支えてくださる事務課の皆さまや充実した大学環境のおかげでここまで続けることができました。私たちと一緒に、社会課題に、そして自分自身に挑戦してみませんか。



▶ 修了生

洪心璐 さん

2021年修了

東洋大学

福祉社会デザイン学部 助教

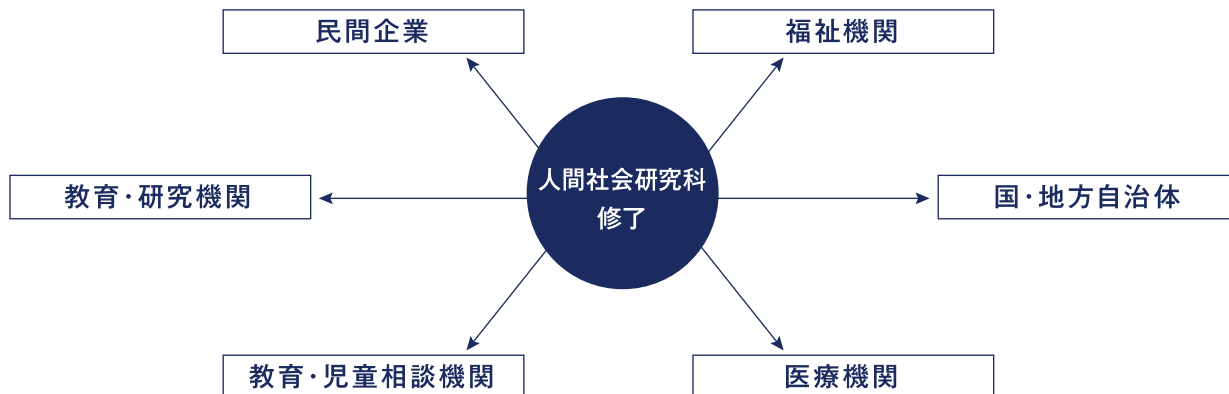
私は日中両国の架け橋になることを目指し、人間社会研究科に入学しました。在学中に、高齢者の居住支援のあり方に関するテーマで博士論文を執筆しました。繰り返す指導教官、仲間同士のディスカッションなどから、論理的に考える思考プロセスを学ぶことができました。このことが今、大学教員として、授業を考えるうえで本当に役立っています。自分らしい生き方について悩んだ時期もありましたが、指導教員はもちろん多くの先生方からの確かなご指導を頂き、進取の意欲に溢れた仲間達と一歩一歩前へ進み、「その先の自分を創る」ことが出来ました。悩んでいる人こそ、積極的に進学の相談をされることをお勧めします。

修了者の進路

修了した方々は大学院での豊かな経験を活かし、様々な進路をとっています。

また、働きながら研究活動を行い、研究の成果を業務に活かされている方もいます。近年の主な進路先をまとめました。

大学院での研究活動を活かして未来の道を拓きませんか？



修了後の進路 (過去18年間分)

福祉社会専攻 ◎修士課程

| | | | |
|---------------|-----|---------------|-----|
| ・福祉機関 | 17名 | ・団体職員 | 4名 |
| ・民間企業 | 21名 | ・社会人入学で修了後も在職 | 25名 |
| ・進学(博士後期課程ほか) | 13名 | ・その他 | 28名 |
| ・公務員 | 6名 | ・研究生 | 7名 |
| ・独立行政法人 | 1名 | ・教員 | 1名 |

臨床心理学専攻 ◎修士課程

「公認心理師」資格取得者 2018～2021年度修了生 51名受験 49名合格
「臨床心理士」資格取得者 2004～2021年度修了生 250名受験 240名合格

| | | | |
|--------------|-----|-----------------|-----|
| ・医療機関(心理職) | 70名 | ・団体職員 | 8名 |
| ・医療機関 | 6名 | ・民間企業(心理職・総合職) | 13名 |
| ・教育相談機関(心理職) | 40名 | ・児童福祉相談所関係(心理職) | 17名 |
| ・スクールカウンセラー | 12名 | ・進学(博士後期課程ほか) | 9名 |
| ・福祉機関(心理職) | 24名 | ・大学学生相談室 | 3名 |
| ・公務員(含む心理職) | 49名 | ・その他 | 13名 |

人間福祉専攻(学位取得者33名) ◎博士後期課程

| | | | |
|------------|-----|-------|----|
| ・私立大学教員 | 17名 | ・教員 | 1名 |
| ・国立大学教員 | 1名 | ・公務員 | 5名 |
| ・私立大学研究員 | 4名 | ・団体職員 | 1名 |
| ・独立行政法人研究員 | 1名 | ・その他 | 3名 |
| ・医療機関(福祉職) | 1名 | | |

※継続在職も含む

キャンパス紹介



多摩キャンパス



院生研究室



講義室



カフェラウンジ



臨床心理相談室

◀ 臨床心理学専攻の学生が公認心理師・臨床心理士をめざし実習を行う施設です。面接室2つ、プレイセラピー室3つ、グループ療法室1つを備えた充実した環境で、公認心理師・臨床心理士の資格を持ったカウンセラーによる指導が行われます。

大学院は、もっと学びやすくなります！

法政大学大学院では、より幅広い優秀な人材を受け入れるための学生支援策として、奨学金制度やティーチングアシスタント(TA)制度、リサーチアシスタント(RA)制度を充実させ、経済面からも大学院での研究活動を支援しています。

福祉社会専攻および臨床心理学専攻は、本学を含めた10大学から成り立つ首都大学院コンソーシアムに加盟し、さらに福祉社会専攻は、本学を含めた13大学から成り立つ大学院社会福祉学専攻課程協議会に加盟しているなど、他大学院での科目を修得することで修了単位に認定される単位互換制度を設けています。

首都大学院コンソーシアム

順天堂大学大学院、専修大学大学院、中央大学大学院、東京電機大学大学院、東京理科大学大学院、東洋大学大学院、日本大学大学院、明治大学大学院、共立女子大学大学院

大学院社会福祉学専攻課程協議会協定校

上智大学大学院、明治学院大学大学院、日本女子大学大学院、東洋大学大学院、淑徳大学大学院、日本社会事業大学大学院、大正大学大学院、立正大学大学院、ルーテル学院大学大学院、関東学院大学大学院、立教大学大学院、日本大学大学院

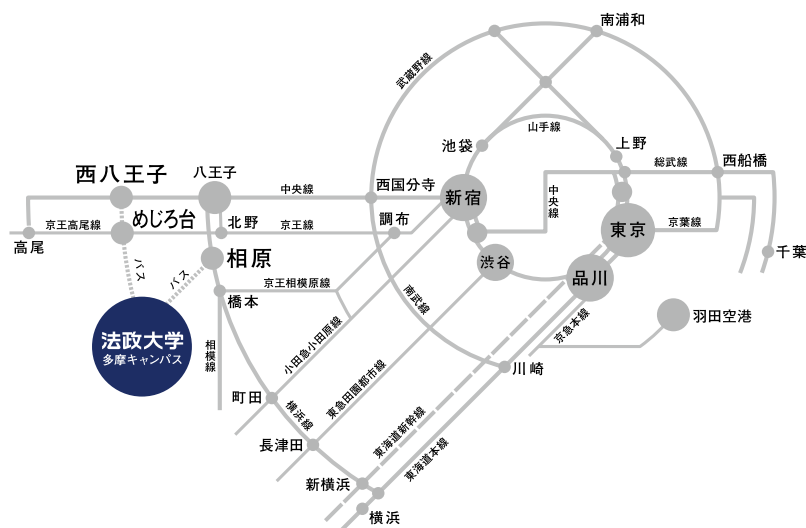
≫ 入試日程および選抜方法 [※詳細は入学試験要項にてご確認ください]

| 専攻 | 募集 定員 | 入試経路 | 出願期間 | 筆記試験日 | 口述試験日 | 最終合格発表 | 選抜方法 |
|-----------|----------|------------------------------|-------------------------|----------|----------|-----------|--|
| 福祉 社会 | 15名 | 一般 社会人 | 2023年 8月25日(金)～9月 1日(金) | 9月24日(日) | 9月24日(日) | 10月 6日(金) | 一般 ▶ 筆記試験(英語・専門科目)および口述試験(面接) ※英語は英和・英英辞典持込参照可 |
| | | 外国人 留学生 | 2023年 8月18日(金)～8月25日(金) | 9月24日(日) | 9月24日(日) | 10月 6日(金) | 社会人 ▶ 筆記試験(専門科目)および口述試験(面接) |
| | | 一般 社会人 | 2024年 1月12日(金)～1月19日(金) | 2月17日(土) | 2月17日(土) | 2月22日(木) | 外国人 留学生 ▶ 筆記試験(専門科目)および口述試験(面接) ※筆記・口述試験とも日本語による |
| | | 外国人 留学生 研修生 (留学生含む) | 2024年 1月 5日(金)～1月12日(金) | 2月17日(土) | 2月17日(土) | 2月22日(木) | 研修生 ▶ 筆記試験(専門科目)および口述試験(面接) ※筆記・口述試験とも日本語による |
| 臨床 心理学 | 15名 | 秋季 一般 | 2023年 8月25日(金)～9月 1日(金) | 9月24日(日) | 9月27日(水) | 10月 6日(金) | 第一次審査 ▶ 筆記試験(専門基礎・専門論述・英語) ※英語は英和辞典のみ持込参照可 |
| | | 春季 一般 | 2024年 1月12日(金)～1月19日(金) | 2月17日(土) | 2月20日(火) | 2月22日(木) | 第二次審査 ▶ 口述試験(面接) [筆記試験合格者のみ] |
| 人間 福祉 | 5名 | 春季 一般 | 2024年 1月12日(金)～1月19日(金) | 2月17日(土) | 2月17日(土) | 2月22日(木) | 筆記試験(英語)および口述試験(面接) |

≫ 進学相談会日程 各専攻の教育内容の説明・教員による個別面談

2023年度の実施につきましては、原則WEBによる情報発信を行い、大学施設にご来場いただく形式では実施しません。
詳細は以下の法政大学大学院ホームページよりご確認ください。

<http://www.hosei.ac.jp/gs/>



- JR中央線 新宿駅から快速で54分(特別快速で42分)、西八王子駅下車
バス約22分(「法政大学」下車)
- JR横浜線 新横浜駅から38分、相原駅下車
バス約13分(「法政大学」下車)
- 京王線 新宿駅から準特急で40分(急行50分)、めじろ台駅下車、
バス約10分(「法政大学」下車)

法政大学大学院 人間社会研究科

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342
TEL.042-783-4047 / FAX.042-783-2808
E-mail: fukushi@hosei.ac.jp

<https://www.hosei.ac.jp/gs/ningenshakai/>

資料請求はこちらへアクセス

<https://www.postin-svr.com/entry/hosei/gs/index.asp>